

危険予知、車両点検

丸藤シートパイル

作業の手順	要 点	注 意 事 項
5. 危険予知訓練 指差呼称(KYK)	<ol style="list-style-type: none"> 現場の状況と関係あるイラストシートと危険予知活動表を用意する。 リスクアセスメントの手法を用い危険のポイントを探し対策をたてる。 車種別にグループ行動目標を決める。 グループリーダーは補足説明をし確認のうえ重要なポイントをまとめ最後に復唱、確認する。 	<p>KYK訓練方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両別グループ行動のリーダーを決める。 行動目標を決める。 行動目標の指差唱和。
6. 作業前準備・運行についての事前打合せ事項の確認	<ol style="list-style-type: none"> 業務部業務グループは運送会社の配車担当者と営業担当者と作業についての打ち合わせを行う。 同上の指示に基づき配車担当者は特記・注意事項等については運転手に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転者は現場作業所の状況をよく把握する。 進入路・到着時間・待機・場所等を確認する。
7. 長尺物の運搬	<ol style="list-style-type: none"> 許可証・旗・赤色灯・その他の必携品の点検確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運行担当者は事前に許可申請手続を取り、許可書を取得する。 長尺物の運搬は長尺の標示する。(夜間走行の場合は赤旗及び赤灯等の表示をする)
8. 車両の点検	<p>運行前点検事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 制動装置及び操縦装置の機能。 荷役装置及び油圧装置の機能。 車輪の異常の有無。 前照灯・尾灯・方向指示器及び警音器の機能。 	<ul style="list-style-type: none"> 運行担当者は運転手に対して状況を明確に説明する。 メーカー発行の車両取扱説明書を熟読する。
9. 荷締機の点検	荷締機・レバーブロック	<ul style="list-style-type: none"> 亀裂・磨耗・ボルト欠落・ゆるみに注意する。